

《担当者名》巻 康弘 maki@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

本科目では、保険医療分野のクライアント特性の理解に加え、地域完結型医療が志向され専門分化・機能分化する医療提供体制の理解を行う。また、医療保険制度などの関係諸制度を理解する。さらに、医療専門職の役割の理解と多職種連携を含む、医療ソーシャルワーカーの役割を理解する。講義展開においては、適時、実践例をもとに検討を行う。

【学修目標】

1. 医療保険制度・保健医療サービスの内容を説明できる。
2. 保健医療分野のクライアント特性を説明できる。
3. 医療ソーシャルワーカーの役割を説明できる。
4. 保健医療サービスにおける専門職の役割と実際を説明できる。
5. 地域包括ケアにおける多機関・多職種による連携・協働について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 保健医療の課題を持つ人の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・講義展開を説明できる。 ・病と共に生きるクライアント特性を説明できる。 ・病者をめぐる社会と病気の環境変化を概説できる。 ・機能分化と専門分化を説明できる。 	巻
2	保健医療における福祉的課題	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病構造の変化について説明できる。 ・国民医療費の動向に関する概要を説明できる。 ・保健医療における福祉的課題を例示することができる。 	巻
3	医療保険と診療報酬制度	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険制度の概要について説明できる。 ・医療保険給付内容について説明できる。 ・診療報酬制度の仕組みを説明できる。 	巻
4	医療ソーシャルワーカーの役割	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ソーシャルワーカーの役割を例示できる。 ・医療ソーシャルワーカー業務指針の位置づけを説明できる。 ・医療福祉の歴史を説明できる。 	巻
5	医療ソーシャルワーカーの役割	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ソーシャルワーカーの役割を例示できる。 ・医療ソーシャルワーカー業務指針における業務と方法を説明できる。 	巻
6	医療ソーシャルワーカーの役割の実際(意思決定支援を中心に)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ソーシャルワーカーの役割について説明することができる。 ・意思決定支援における医療ソーシャルワーカーの役割について自らの考えをまとめることができる。 	下倉賢士(特別講師) 巻
7	医療保険制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・高額療養費制度について説明できる。 ・傷病手当金を説明できる。 ・事例に対する制度活用の可能性を説明できる。 	巻
8	医療提供体制(入院医療)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院完結型医療から地域完結型医療 ・医療圏と病床機能報告制度を説明できる。 ・医療提供施設(入院医療)の機能を説明できる。 	巻
9	医療提供体制(在宅医療)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアにおける医療の役割を概説できる。 ・医療提供施設(在宅医療)の機能を説明できる。 	巻
10	患者の権利と医療倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の権利に関する動向を概説できる。 ・インフォームドコンセントについて説明できる。 ・インフォームドアセントについて説明できる。 ・医療倫理の4原則について説明できる。 	巻
11	医療ソーシャルワーカー倫理綱領	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ソーシャルワーカー倫理綱領について説明できる。 ・模擬事例に対し、倫理綱領をもとに、自らのソーシ 	巻

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		ネットワーク実践の方向性を説明することが出来る。	
12	医療専門職との多職種連携	・医療関連専門職の役割について説明できる。 ・多職種チームモデルを説明できる。 ・医療におけるチームアプローチの必要性について概説できる。	巻
13	医療介護連携体制構築の実際	・地域における医療福祉課題の実際を説明できる。 ・地域課題に対応する医療介護連携体制構築の実際について説明できる。 ・地域包括ケアにおける医療ソーシャルワーカーの役割と実践の可能性について概説できる。	関 建久（特別講師） 巻
14	多機関連携・協働と地域活動	・医療福祉関係者との連絡・連携・統合について説明できる。 ・保健医療サービスにおけるネットワーク構築に関わる概念を説明できる。 ・医療ソーシャルワーカーが行う地域活動について説明できる。	巻
15	医療機関におけるソーシャルワーク部門と全体のまとめ	・医療機関におけるソーシャルワーク部門の果たす役割について説明できる。 ・全体のまとめ	巻

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験(80%)、提出物(20%)等を総合的に評価する。

【教科書】

(編) 社会福祉士養成講座編集委員会(2021)『保健医療と福祉』中央法規。

【参考書】

日本医療ソーシャルワーク研究会編(2021)「2021年度医療福祉総合ガイドブック」医学書院
副田あけみ(2018)『多機関協働の時代～高齢者の医療・介護ニーズ、分野横断的ニーズへの支援』

【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「保健医療サービス」に該当する。
また、教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉援助技術」に該当する。

【学修の準備】

1. 講義についてふれる知識や情報についての復習を行うこと。
2. 変化する医療情勢の最新動向について新聞報道等により継続的に注意し講義に臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、4

【講義の受講にあたって】

1. 講義毎にリアクションペーパー（理解したこと、疑問、自ら考えたこと等）の記載を求める。
2. 受講にあたっては、「自ら感じ、考える」ことを意識し、その内容をリアクションペーパーに記載すること。
3. リアクションペーパー記載内容に対し、次回の講義で必要に応じ解説する。

【実務経験】

社会福祉士、認定社会福祉士（医療分野）、認定医療社会福祉士、介護支援専門員

【実務経験を活かした教育内容】

病院・相談機関での医療ソーシャルワーカー（社会福祉士等）としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。